

ステップ1-(1) 事前準備－基本情報①

1 一般組合員（平成26年9月末日）

区分		男性	女性	合計
一般組合員	人数(人)	9,543	11,525	21,068
	割合(%)	45.3	54.7	100.0

区分		男性	女性	合計
被扶養者	人数(人)	7,698	10,687	18,385
	割合(%)	41.9	58.1	100.0

3 任意継続組合員（平成26年9月末日）

区分		男性	女性	合計
任意継続組合員	人数(人)	396	385	781
	割合(%)	50.7	49.3	100.0

4 特定健康診査・特定保健指導の実施率

(1) 特定健康診査（平成25年度 国への実績報告）

区分	組合員	被扶養者	任意継続	合計
対象者数(人)	14,962	3,714	693	19,369
受診者数(人)	13,009	1,064	253	14,326
実施率(%)	86.9	28.6	36.5	74.0

(2) 特定保健指導（平成25年度 国への実績報告）

① 動機づけ支援

区分	組合員	被扶養者	任意継続	合計
対象者数(人)	1,225	56	22	1,303
終了者数(人)	256	1	1	258
実施率(%)	20.9	1.8	4.5	19.8

② 積極的支援

区分	組合員	被扶養者	任意継続	合計
対象者数(人)	1,483	40	25	1,548
終了者数(人)	182	2	1	185
実施率(%)	12.3	5.0	4.0	12.0

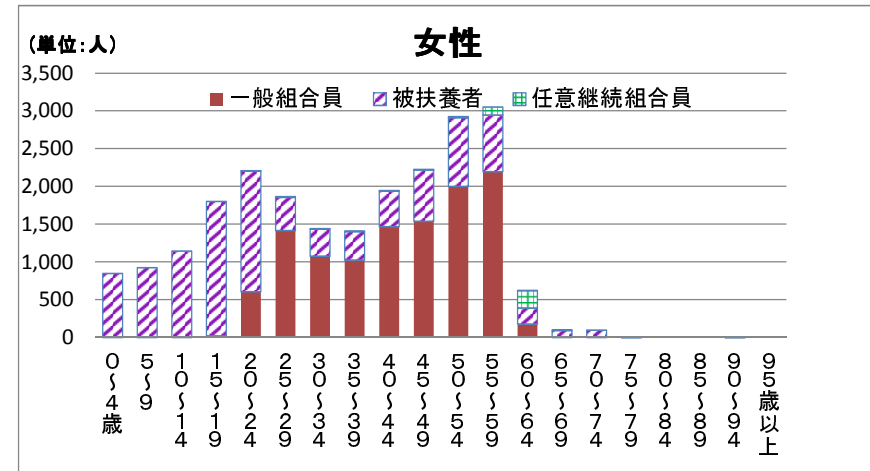
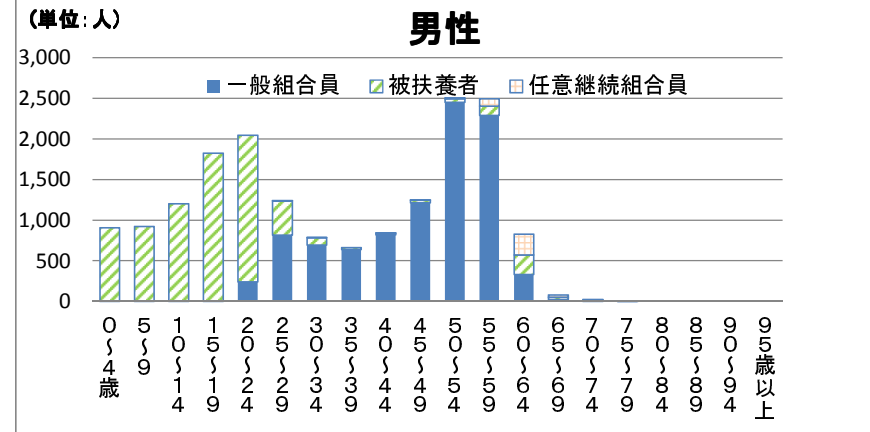
③ 合計

区分	組合員	被扶養者	任意継続	合計
対象者数(人)	2,708	96	47	2,851
終了者数(人)	438	3	2	443
実施率(%)	16.2	3.1	4.3	15.5

5 所属所数

964 か所

6 グラフ



ステップ1-(1) 事前準備－基本情報②

7 厚生事業費等

区分	25年度決算額 A		26年度予算額 B		増減		
	金額 (千円)	構成割合 (%)	金額 (千円)	構成割合 (%)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	
健康管理事業	特定健診等事業	183,568	72.3	253,395	70.0	69,827	38.0
	（特定健診・保健指導）	15,638	6.2	49,448	13.7	33,810	216.2
	（（特）人間ドック等）	162,766	64.1	195,914	54.1	33,148	20.4
	（その他）	5,164	2.0	8,033	2.2	2,869	55.6
	健診事業	50,833	20.0	70,389	19.4	19,556	38.5
	（人間ドック）	17,946	7.1	21,323	5.9	3,377	18.8
	（器官別検診）	32,887	13.0	49,066	13.5	16,179	49.2
	（被扶養者健診）	0	0.0	0	0.0	0	-
	健康づくり事業	5,685	2.2	14,439	4.0	8,754	154.0
	その他	951	0.4	6,973	1.9	6,022	633.2
一般事業	保養関係	2,823	1.1	5,800	1.6	2,977	105.5
	体育関係	0	0.0	0	0.0	0	-
	教養・文化関係	8,323	3.3	9,379	2.6	1,056	12.7
	へき地組合員関係	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	1,656	0.7	1,776	0.5	120	7.2
厚生事業費 合計… a	253,839	100.0	362,151	100.0	108,312	42.7	
保健経理支出額合計… b	322,234	—	447,928	—	125,694	—	
宿泊経理へ繰入	0	—	0	—	0	—	
厚生事業費の支出割合 (a÷b×100)	78.8%	—	80.9%	—	2.1%	—	
組合員1人当たり厚生事業費 (円)	12,049円	—	17,190円	—	5,141	—	

8 自支部の医療職

(単位：人)

区分	常勤	非常勤	合計
医師	0	0	0
保健師	0	0	0
その他 ()	0	0	0
合計	0	0	0

9 コメント

- 組合員
 - 男女ともに50歳代が最も多い。
- 被扶養者
 - (1) 女性が約6割を占めている。
 - (2) 女性の被扶養者は20～50歳代も含めて幅広い。
- 任意継続組合員
 - 男女ともに60～64歳が多く、次に55～59歳が多い。
- 特定健康診査・特定保健指導
 - (1) 特定健診の受診率は74.0%で、29年度目標値(90%)より16.0%低い。
 - (2) 特定保健指導の実施率は15.5%で、29年度目標値(40%)より24.5%低い。
- 厚生事業費
 - (1) H26年度事業予算額は前年度と比べ増税対応のため全体的に増加
 - (2) H26年度から互助組合の補助金2,500万円を受けることになり、(特)人間ドックが増加している。
 - (3) (特)人間ドックと健診事業(事務費を除く。)で全体の73.5%を占めている。
 - (4) 特定健診・保健指導と健康づくり事業については、必要性があるため予算をとっているが、実績が伸びていない。

ステップ1-(2) 当共済組合でこれまで実施してきた保健事業を整理する

区分	事業の概要	対象者						共催	25年度実施時期	25年度の補助金等(千円)	振り返り				
		組合員		被扶養者		任継					実施状況(人数・実施時期等)	成功・推進要因	阻害要因		
		性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢								
特定健診・特定保健指導	特定健康診査(集合契約)	なし	なし	男・女	40～74歳	なし	なし	男・女	40～74歳	7～3月	0	7月に受診券配付	組合員の健診結果を概ね受領できている。	対象者の理解不足。	
	特定保健指導(訪問型)	男・女	40～74歳	なし	なし	なし	なし	なし	なし	-	0	個別契約・集合契約は2月に案内送付。	人間ドックに引き続いての特定保健指導。	-	
	特定保健指導(人間ドックに引き続き)	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	6～3月	0	訪問型はH26年度から。		対象者の理解不足。健診実施から案内までの時間的隔たり。	
	特定保健指導(個別契約)	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	2～3月	0				
	特定保健指導(集合契約)	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	2～3月	0				
(特)人間ドック等	指定年齢健診	男・女	41～59歳(奇数)	なし	なし	なし	なし	なし	地	6～2月	0	5,830人(共済のみ)キャンセル率2～3%。指定年齢健診以外は抽せん。決定率は脳検査付ドックが50%、肺検査付ドックは76%。	人間ドックのニーズが高い。	40代の偶数年齢の者はオプション付ドックしか申し込みない。	
	シニア普通ドック	男・女	50～58歳(偶数)・60歳以上	なし	なし	なし	なし	なし	地互	6～2月	0				
	脳検査付ドック	男・女	46～58歳(偶数)・60歳以上	なし	なし	なし	なし	なし	地	6～2月	0				
	肺検査付ドック	男・女	42～58歳(偶数)・60歳以上	なし	なし	なし	なし	なし	地	6～2月	0				
その他	特定健康診査及び特定保健指導の実施に係る諸費用														
健康管理事業	人間ドック	指定年齢健診	男・女	30, 35, 37, 39歳	なし	なし	なし	なし	なし	地	6～2月	0	680人(共済のみ)キャンセル率13%。	特になし	健診に対する意識の低さ。
	器官別検診	レディース検診(ドックセット型)	女	ドック受診者	なし	なし	なし	なし	なし	地	6～2月	0	キャンセル率12～15%。レディース検診ドックセット型:3,110人 巡回型:1,370人 ・脳ドック:80人 ・大腸がん:230人	レディース検診(巡回型)は近隣の会場で受けられる。	特になし
		レディース検診(巡回型)	女	全員	なし	なし	なし	なし	なし	地	12～2月	0			特になし
		脳ドック	男・女	46歳以上	なし	なし	なし	なし	なし	地	6～2月	0			人間ドックとどちらかの選択のみ。
		大腸がん検診	男・女	41歳以上	なし	なし	なし	なし	なし	地	1月	0			健診に対する意識の低さ。
	被扶養者健診	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	0	-	-	-	
	健康づくり事業	リラクゼーションドック	男・女	全員	なし	なし	なし	なし	なし	なし	6～12月	0	90人		立地条件、内容。
		メンタルヘルズ相談	男・女	全員	なし	なし	なし	なし	なし	なし	通年	0	260件881人(セミナー含む)	職場巡回相談(県事業)の継続支援。	敷居の高さ。
		メンタルヘルズ講演会	男・女	全員	なし	なし	なし	なし	なし	なし	4～2月	0	30団体		組合員の理解不足。
		こことからだのリフレッシュセミナー	男・女	全員	同伴のみ	同伴のみ	なし	なし	なし	なし	7・8月	0	110人(2会場)		内容。周知不足。
健康管理視聴覚資料の貸出し	男・女	全員	なし	なし	なし	なし	なし	なし	通年	0					
その他	健診事業及び健康づくり事業に係る事務費等														
一般事業	保養関係	宿泊保養施設利用補助	男・女	全員	男・女	全員	男・女	全員	なし	通年	0	2,800件。契約施設のみで利用可能。	特になし	利便性の高い手段の普及。	
	体育関係	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	0	-	-	-	
	教養・文化関係	芸術・文化鑑賞招待	男・女	全員	同伴のみ	同伴のみ	なし	なし	なし	期間中	0	4,780人。抽選式。	組合員の関心の高さ。	地域や招待内容に偏りがある。	
		プロ野球観戦招待	男・女	全員	同伴のみ	同伴のみ	なし	なし	なし	期間中	0				
		プロサッカー観戦招待	男・女	全員	同伴のみ	同伴のみ	なし	なし	なし	期間中	0				
	ライフプラン支援	男・女	全員	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	0	平成26年度から。	-	-	
	へき地組合員関係	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	0		-	-	
その他	福利ひろしま	男・女	全員	組合員の持ち帰り	組合員の持ち帰り	なし	なし	なし	五	年5回	0	4月(特集号)、6月、9月、12月、3月	特になし	教職員の多忙さ、内容等による未読。	
宿江経理へ繰入	自支部が運営する宿泊施設への繰り入れ	<内容> なし													

<コメント>

1 健康管理事業

- 特定健康診査：被扶養者、任意継続の受診率が低い。
- 特定保健指導：目標値を下回っているが、人間ドックに引き続いての実施を導入し、H25年度は多少向上
- 人間ドック：オプション付ドックでオプションのみキャンセルする者が目立つ。
指定都市への権限移譲に伴い、費用負担のあり方について検討する必要がある。
- 器官別検診：脳ドック及び大腸がん検診は募集定員割れかつ減少傾向
- 健康づくり事業：全体的に利用率が低い。ただし、メンタルヘルズ相談・講演会の利用件数は年々伸びてきている。

2 一般事業

- 保養関係：年々利用者が減少している。
- 招待事業：抽選だが、応募者に偏りがあり、同一組合員の複数回当選もある。
- 福利ひろしま：配付はしているが、組合員がこれを読み、活用しているかは不明

ステップ1-(3) 事業主で実施している取り組み①(都道府県)

No	事業名	事業の目的および概要	対象者						共催	25年度 実施時期	振り返り	
			組合員		被扶養者		任継				実施状況 (人数・時期・回数等)	懸案事項等
			性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
1	一般定期健康診断及び雇 入時健康診断	学校保健安全法及び労働安全衛生法に基づく教職員の健康診断の実施及び健康診断結果に基づく保健指導等の実施	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		6～3月	約6,000人	
2	特別健康診断	県立特別支援学校に勤務する、児童等の介助を本務とする教諭等を対象に腰背部、頸・肩・腕部、膝部・手・指部の健康診断を実施。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		7～1月	400人	事業の継続
3	教職員各種ウイルス疾患 等予防検診	衛生看護科及び同専攻科を有する県立学校の職員に対して、各種ウイルス等感染の早期発見と予防に努め、健康管理の適正を図るため実施。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし			15人	
4		教育委員会事務局の職員の健康状態を把握し、健康管理を適切に進めるとともに、潜在する疾病(胃)を早期に発見する。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		6月	10人	
5	人間ドック	共済組合と同様(肺検査付ドックを除く。)	男・女	共済組合 と同様	なし	なし	なし	なし	共互	6～2月	4,910人	
6	レディース検診 (ドックセット型)	共済組合と同様。	女	人間ドック 受診者	なし	なし	なし	なし	共	6～2月	2,150人	
7	職場巡回相談	メンタルヘルス不調の未然防止、再発防止を図るため、県の各機関に臨床心理士を派遣。 対象者は次のいずれかに該当する教職員。 ①採用後1年未満②異動後1年未満③精神疾患での休職から復職後1年未満④本人の希望があり、かつ、所属長が必要性を認めた場合	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		5～8月	1,050人	
8	初任者メンタルヘルス研 修	小中県立学校の初任者教員を対象にしたメンタルヘルス研修	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		6月		
9	管理監督者メンタルヘル ス研修	メンタルヘルスに関する管理監督者としての実践的な対応方法を習得する。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		6月 11月	校長・事務長と教頭・部主事を隔年で実施	
10	教育委員会事務局メンタ ルヘルス研修	教育委員会事務局の職員を対象としたメンタルヘルス研修	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		11月		
11	メンタルヘルス相談 (管理職)	管理職自身のセルフケアや不調となった所属職員への対処方法のアドバイスに役立てるための、専門医療機関によるメンタルヘルス相談	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		通年	H25年度1件、H21～24年度は実績なし。	
12	禁煙デー、禁煙週間	世界禁煙デー及び禁煙週間について県立学校等に通知し、ポスターを配付する。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		5月		
13	職員健康管理システム	過重労働防止のため、月80時間を超える時間外勤務を行った者等に対して産業医が面接指導を行う。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		通年	事務局50人、県立学校80人(延べ人数)	
14	VDT作業従事 者健康診断	VDT作業に従事する職員の健康状態を把握し、健康管理を適切に行うとともに、潜在する疾病を早期に発見する。	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		9～3月	事務局480人、県立学校210人	

<コメント>

- ・人間ドック：オプション付ドックでオプションのみキャンセルする者が目立つ。
指定都市への権限移譲に伴い、費用負担のあり方について検討する必要がある。

ステップ1-(3) 事業主で実施している取り組み②(互助団体)

No	事業名	事業の目的および概要	対象者						共催	25年度 実施時期	振り返り	
			組合員		被扶養者		任継				実施状況 (人数・時期・回数等)	懸案事項等
			性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
1	リフレッシュ給付金	該当年齢の組合員に50,000円を支給	男・女	30, 40, 50, 54, 59歳	なし	なし	なし	なし			平成26年度改編	
2	人間ドック助成 (シニア普通ドック)	健診費用の8割を助成	男・女	50～58歳 (偶数) ・60歳以上	なし	なし	なし	なし	地共		平成26年度開始	事業の継続及び補助額の維持
3	人間ドック助成 (被扶養配偶者ドック)	該当年齢の被扶養配偶者の健診費用を助成	なし	なし	男・女	40, 45, 50, 55, 60歳	なし	なし			平成26年度開始	
4		へき地勤務の組合員に2,000円相当の品を配付	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		通年		
5	長期療養者見舞金	傷病のため3カ月以上の病気休暇、療養、病気休職している組合員に見舞金を支給	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		通年		
6	義肢等製作費助成	補装具を装着したときの購入費用または修繕費用を助成	男・女	全員	なし	なし	なし	なし		通年		
7	普及事業	広報誌「福利ひろしま」の配付	男・女	全員	組合員の 持ち帰り	組合員の 持ち帰り	なし	なし	共	年5回		

<コメント>

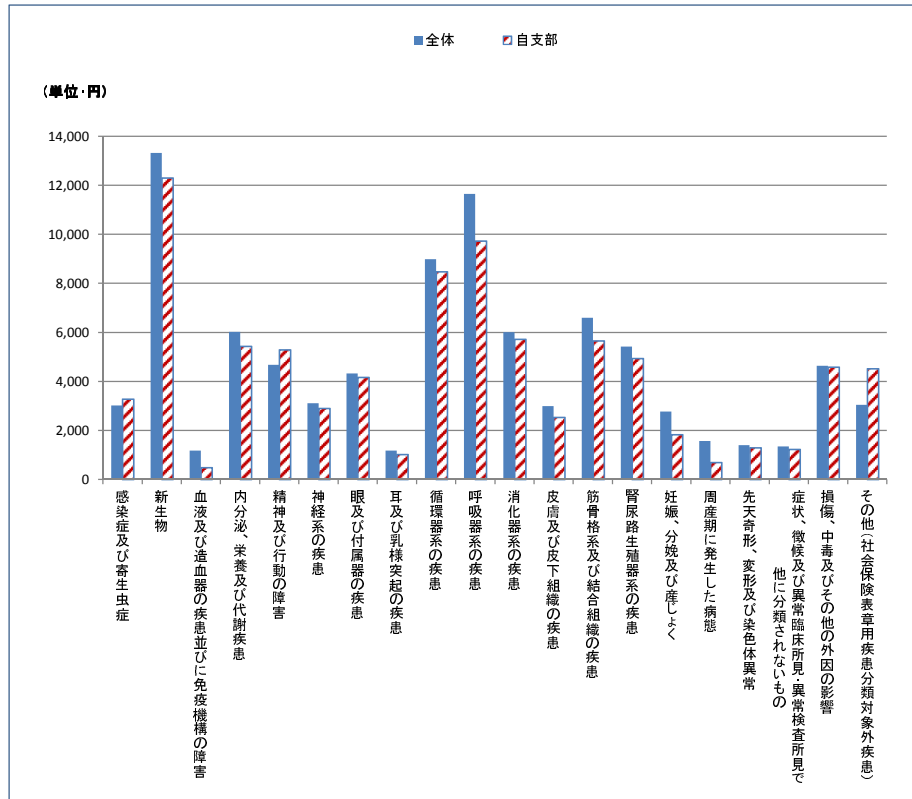
ステップ1-(3) 事業主で実施している取り組み③(その他< なし >)

No	事業名	事業の目的および概要	対象者						共催	25年度 実施時期	振り返り	
			組員		被扶養者		任継				実施状況 (人数・時期・回数等)	懸案事項等
			性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

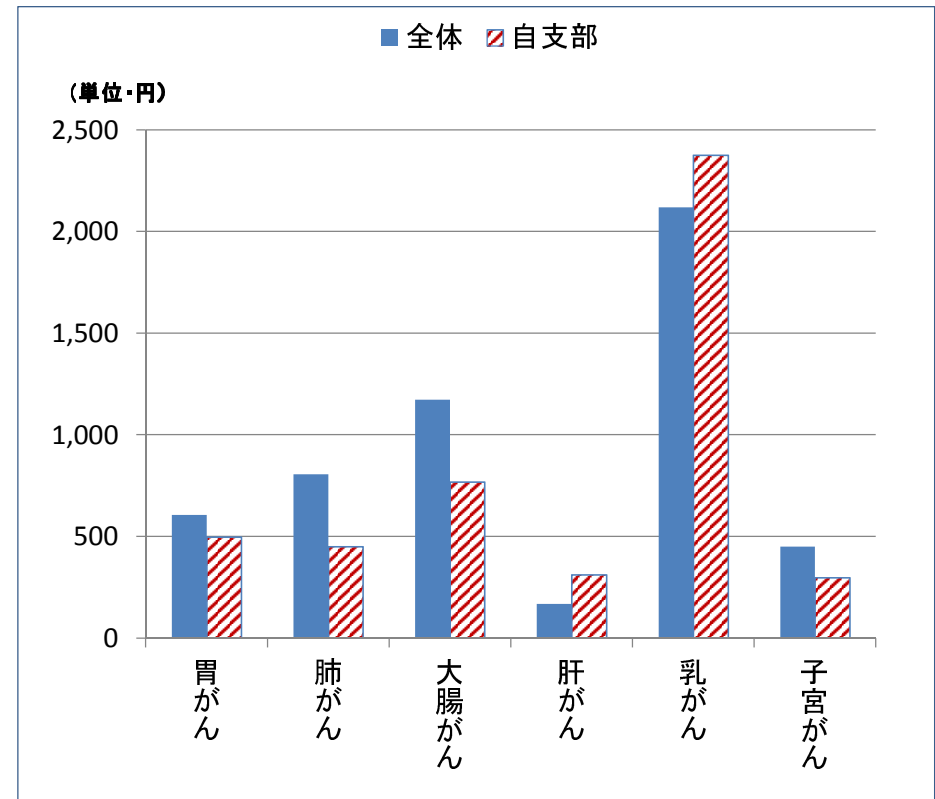
<コメント>

ステップ2-(1) データ分析結果に基づく自支部の現状－レセプト(コスト)分析の概要①

1. 疾病別1人当たり医療費



2. 5大がん及び子宮がん1人当たり医療費



<コメント>

1. 疾病別1人当たり医療費

- (1) 全体と同様、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「循環器系の疾患」の順番で1人当たり医療費が高い。
- (2) 「感染症及び寄生虫症」及び「精神及び行動の障害」(「その他」を除く。)の1人当たり医療費が全体を上回っている。

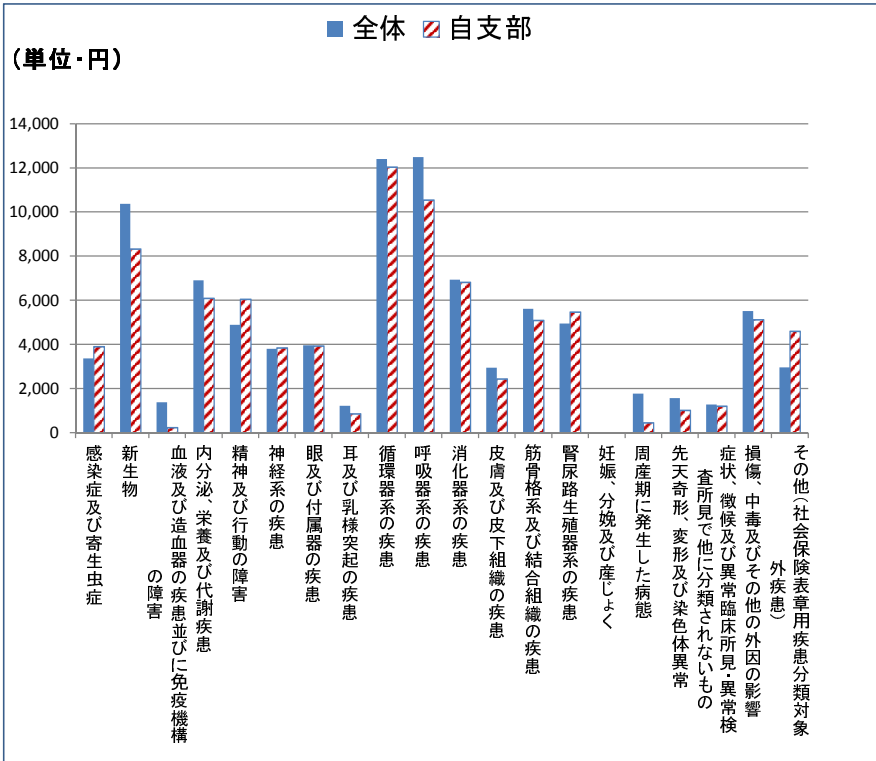
2. 5大がん及び子宮がん1人当たり医療費

- ・「肝がん」及び「乳がん」の1人当たり医療費が全体を上回っている。

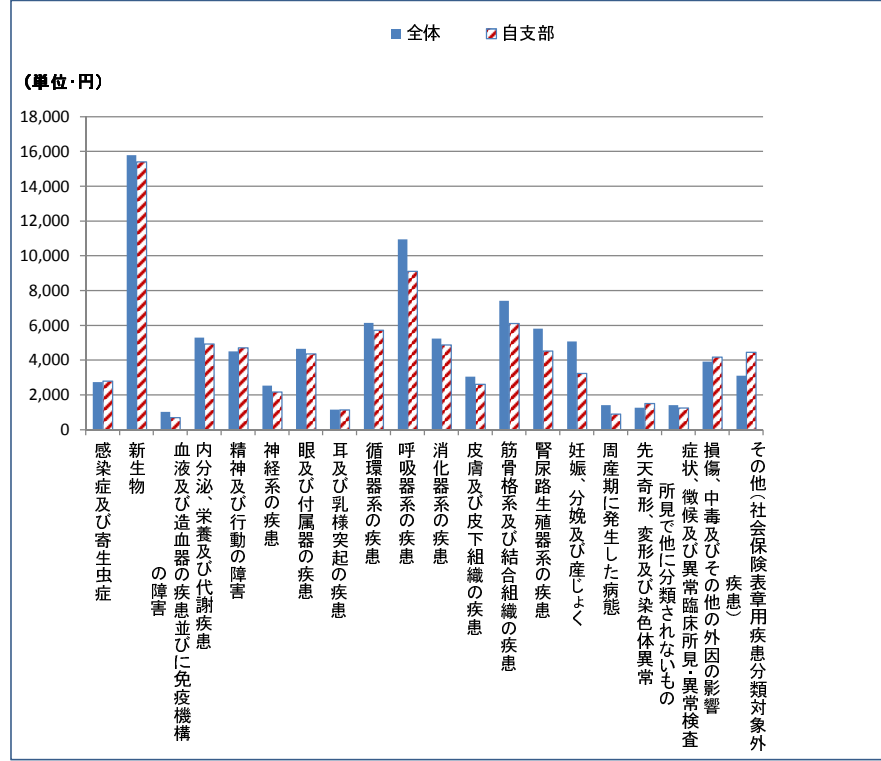
ステップ2-(1) データ分析結果に基づく自支部の現状－レセプト(コスト)分析の概要②

1. 男女別疾病別1人当たり医療費

②男性



③女性



<コメント>

(男性)

・「感染症及び寄生虫症」、「精神及び行動の障害」、「神経系の疾患」及び「腎尿路生殖器系の疾患」(「その他」を除く。)の1人当たり医療費が全体を上回っている。

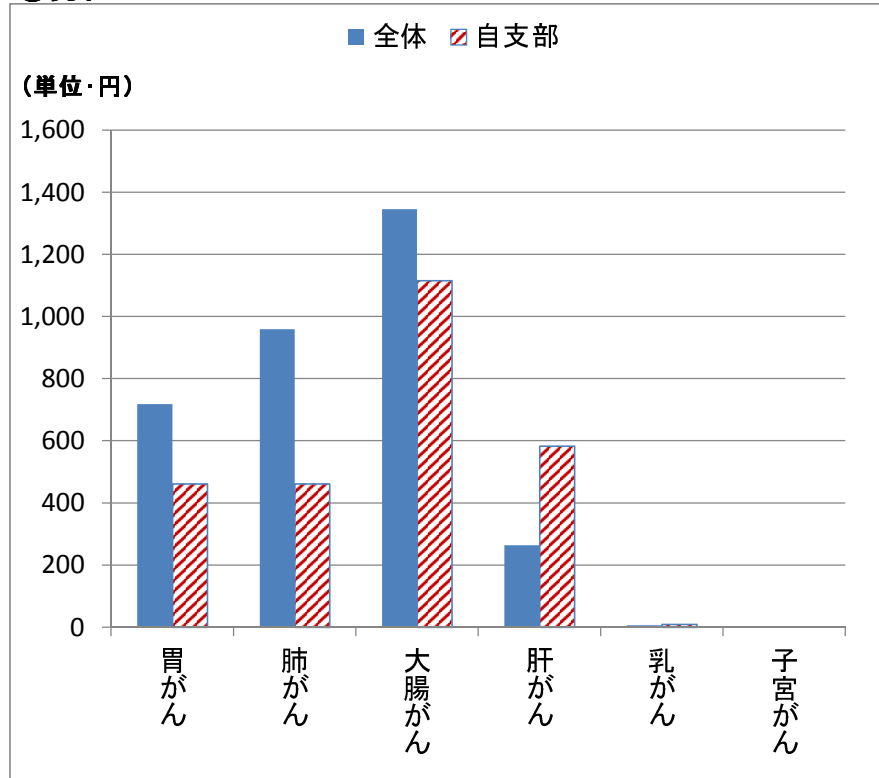
(女性)

・「感染症及び寄生虫症」、「精神及び行動の障害」、「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「損傷、中毒及びその他の外因の影響」(「その他」を除く。)の1人当たり医療費が全体を上回っている。

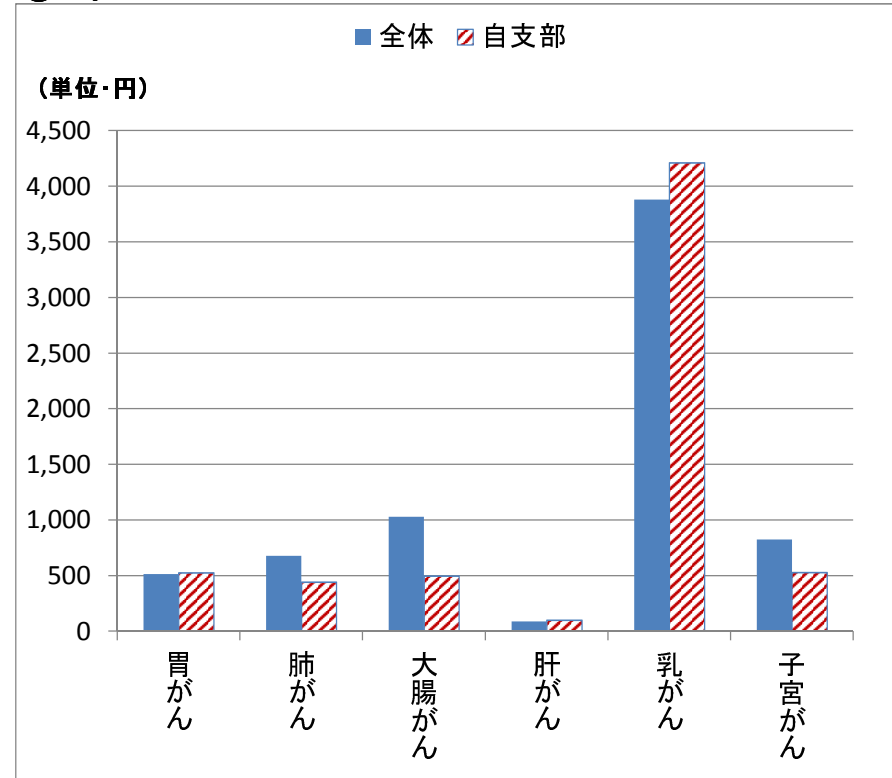
ステップ2-(1) データ分析結果に基づく自支部の現状－レセプト(コスト)分析の概要③

2. 男女別5大がん及び子宮がん1人当たり医療費

②男性



③女性



<コメント>

(男性)

- ・「肝がん」の1人当たり医療費が全体を上回っている。

(女性)

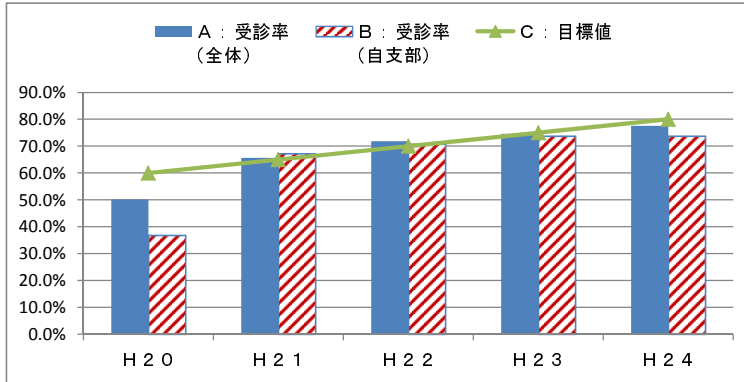
- ・「胃がん」, 「肝がん」及び「乳がん」の1人当たり医療費が全体を上回っている。

ステップ2-(2) データ分析結果に基づく自支部の現状－健診(リスク)分析の概要①

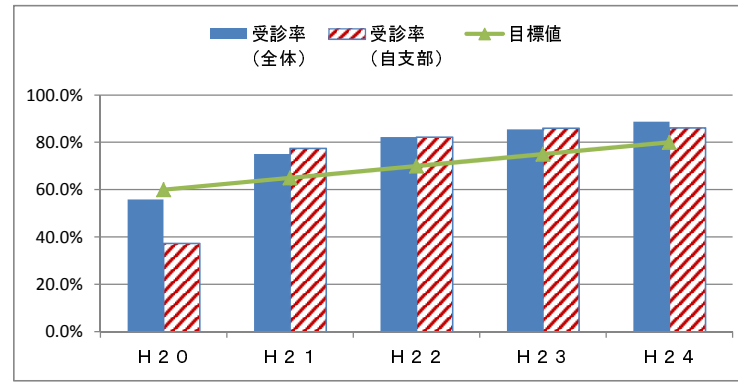
1 特定健康診査・特定保健指導の受診状況

(1) 特定健康診査

①合計(組合員+被扶養者+任意継続組合員)

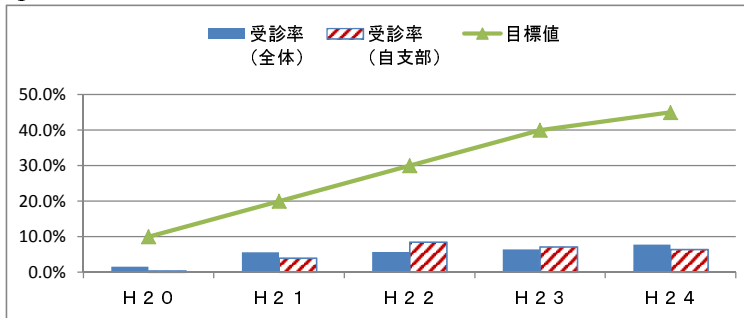


②組合員

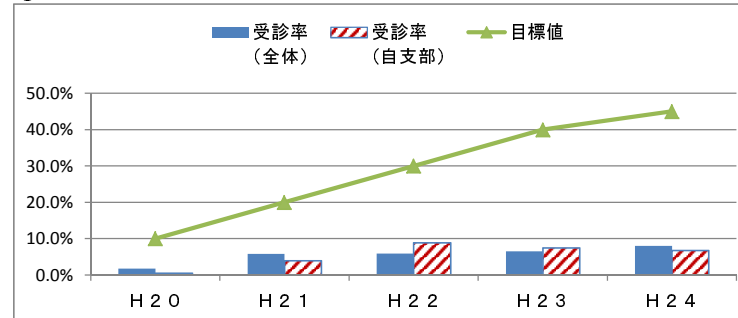


(2) 特定保健指導

①合計



②組合員



<コメント>

1. 特定健康診査

- (1) 合計：H21, 22年度に目標値を上回ったが、H20, 23, 24年度は目標値と受診率(全体)を下回っている。
- (2) 組合員：H20年度を除き、すべての年度で目標値を上回っているが、H20, 24年度は受診率(全体)を下回っている。

2. 特定保健指導

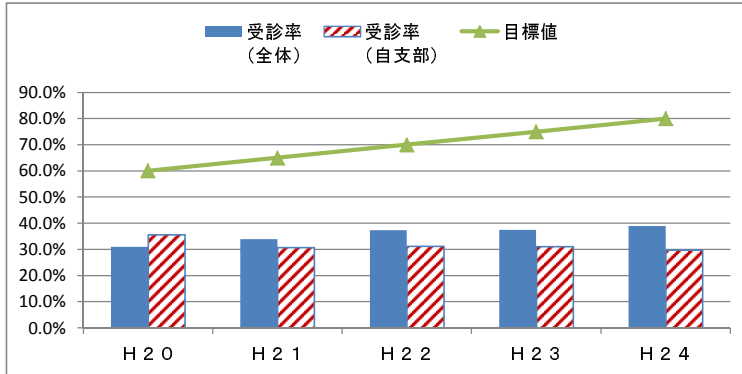
- (1) 合計：H22, 23年度に受診率(全体)を上回ったが、H20, 21, 24年度は下回っており、すべての年度で目標値を下回っている。
- (2) 組合員：H22, 23年度に受診率(全体)を上回ったが、H20, 21, 24年度は下回っており、すべての年度で目標値を下回っている。

ステップ2-(2) データ分析結果に基づく自支部の現状－健診(リスク)分析の概要②

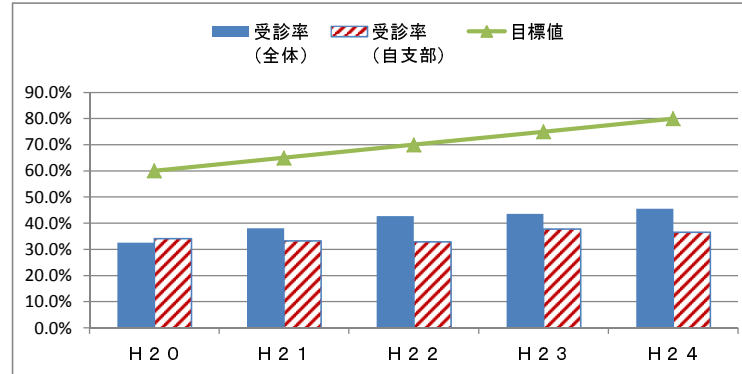
1 特定健康診査・特定保健指導の受診状況

(1) 特定健康診査

②被扶養者

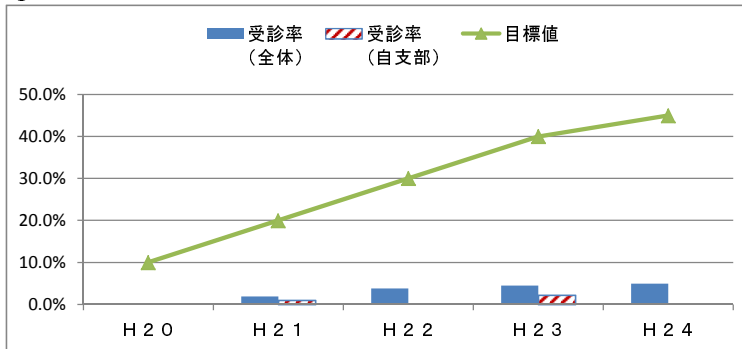


③任意継続組合員

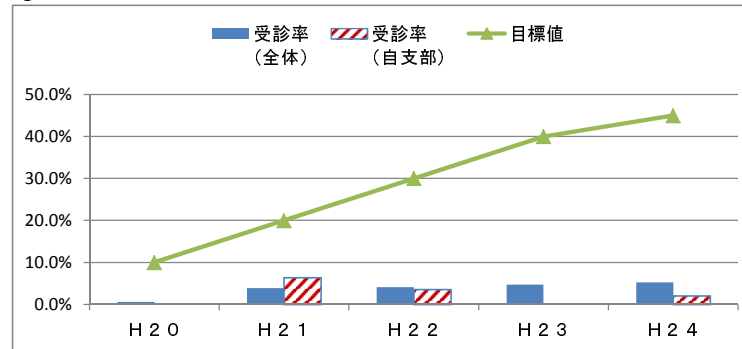


(2) 特定保健指導

②被扶養者



③任意継続組合員



<コメント>

1. 特定健康診査

(1) 被扶養者：H20年度のみ受診率（全体）を上回ったが、H21年度以降は下回っており、すべての年度で目標値を下回っている。

(2) 任意継続組合員：H20年度のみ受診率（全体）を上回ったが、H21年度以降は下回っており、すべての年度で目標値を下回っている。

2. 特定保健指導

(1) 被扶養者：すべての年度で目標値及び受診率（全体）を下回っている。

(2) 任意継続組合員：H21年度のみ受診率（全体）を上回ったが、その他の年度では下回っており、すべての年度で目標値を下回っている。

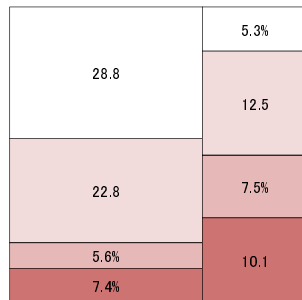
ステップ2-(2) データ分析結果に基づく自支部の現状—健診(リスク)分析の概要③

3 健康分布[®]による状況 (24年度分)

(1)合計(組合員+被扶養者+任意継続組合員)

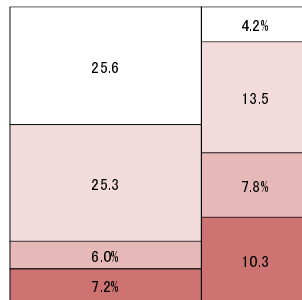
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	189,923	34,980	224,903
階層化リスクあり	150,392	82,648	233,040
受診勧奨	37,271	49,611	86,882
服薬	48,820	66,949	115,769
全体	426,406	234,188	660,594



②自支部

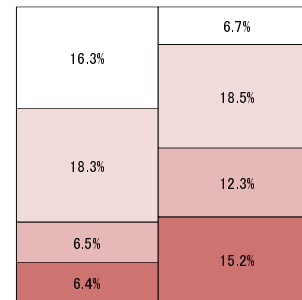
	非肥満	肥満	全体
リスクなし	3,975	658	4,633
階層化リスクあり	3,943	2,099	6,042
受診勧奨	935	1,215	2,150
服薬	1,126	1,605	2,731
全体	9,979	5,577	15,556



(2)組合員<男性>

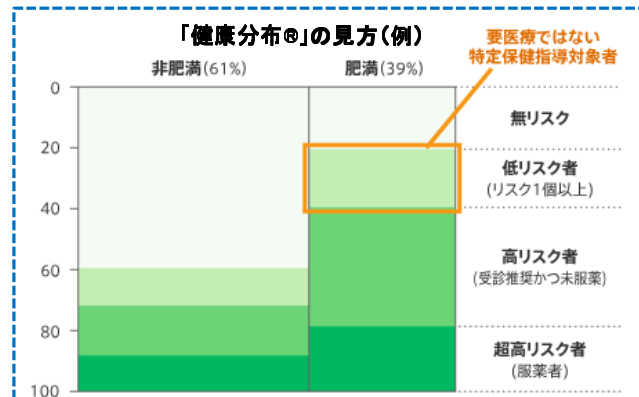
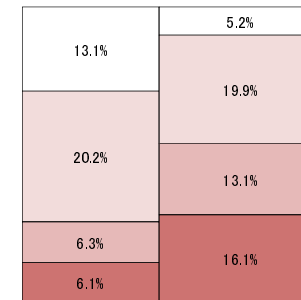
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	50,351	20,635	70,986
階層化リスクあり	56,572	57,037	113,609
受診勧奨	19,963	37,925	57,888
服薬	19,770	46,888	66,658
全体	146,656	162,485	309,141



②自支部

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	919	364	1,283
階層化リスクあり	1,426	1,403	2,829
受診勧奨	445	922	1,367
服薬	432	1,131	1,563
全体	3,222	3,820	7,042

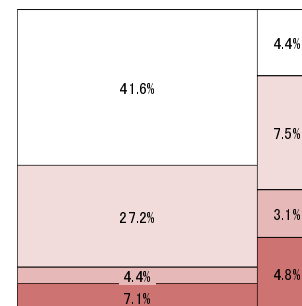


【注】「健康分布[®]」は、健診データから、集団の特徴(健康状況)を面積グラフを用いて「見える化」することを目的とし、予防医学の専門家集団であるヘルスケア・コミット株式会社(株)が考案したもので、花王株式会社の登録商標です。当共済組合のデータヘルス計画書の作成に当たっては、承諾を得た上で利用しています。

(2)組合員<女性>

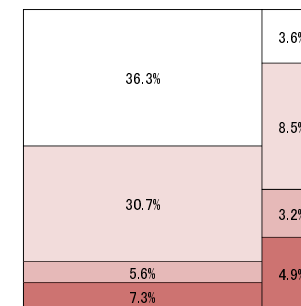
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	113,848	11,971	125,819
階層化リスクあり	74,487	20,565	95,052
受診勧奨	12,042	8,585	20,627
服薬	19,335	13,133	32,468
全体	219,712	54,254	273,966



②自支部

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	2,577	256	2,833
階層化リスクあり	2,179	603	2,782
受診勧奨	399	228	627
服薬	516	348	864
全体	5,671	1,435	7,106



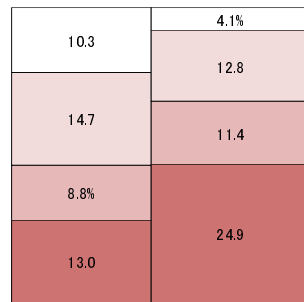
ステップ2-(2) データ分析結果に基づく自支部の現状－健診(リスク)分析の概要④

3 健康分布^④による状況 (24年度分)

(3)被扶養者<男性>

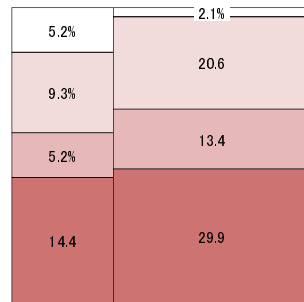
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	436	174	610
階層化リスクあり	625	544	1,169
受診勧奨	372	483	855
服薬	553	1,059	1,612
全体	1,986	2,260	4,246



②自支部

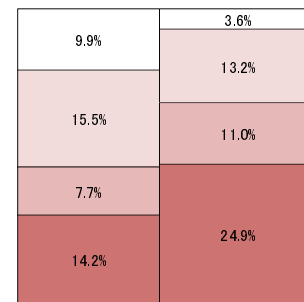
	非肥満	肥満	全体
リスクなし	5	2	7
階層化リスクあり	9	20	29
受診勧奨	5	13	18
服薬	14	29	43
全体	33	64	97



(4)任意継続組合員<男性>

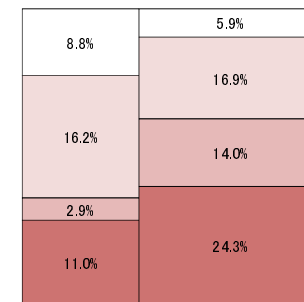
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	728	268	996
階層化リスクあり	1,147	972	2,119
受診勧奨	571	810	1,381
服薬	1,051	1,838	2,889
全体	3,497	3,888	7,385



②自支部

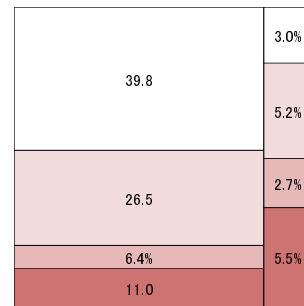
	非肥満	肥満	全体
リスクなし	12	8	20
階層化リスクあり	22	23	45
受診勧奨	4	19	23
服薬	15	33	48
全体	53	83	136



(3)被扶養者<女性>

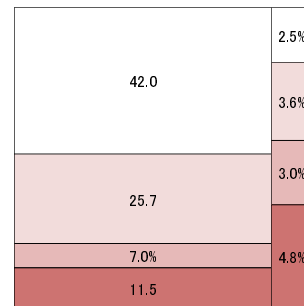
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	21,980	1,674	23,654
階層化リスクあり	14,627	2,864	17,491
受診勧奨	3,557	1,472	5,029
服薬	6,067	3,016	9,083
全体	46,231	9,026	55,257



②自支部

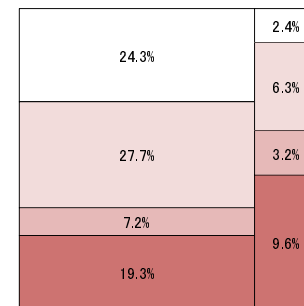
	非肥満	肥満	全体
リスクなし	398	24	422
階層化リスクあり	243	34	277
受診勧奨	66	28	94
服薬	109	45	154
全体	816	131	947



(2)任意継続組合員<女性>

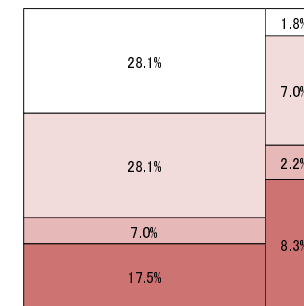
①組合(全体)

	非肥満	肥満	全体
リスクなし	2,580	258	2,838
階層化リスクあり	2,934	666	3,600
受診勧奨	766	336	1,102
服薬	2,044	1,015	3,059
全体	8,324	2,275	10,599



②自支部

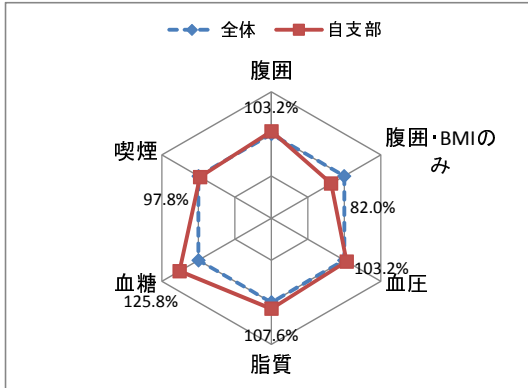
	非肥満	肥満	全体
リスクなし	64	4	68
階層化リスクあり	64	16	80
受診勧奨	16	5	21
服薬	40	19	59
全体	184	44	228



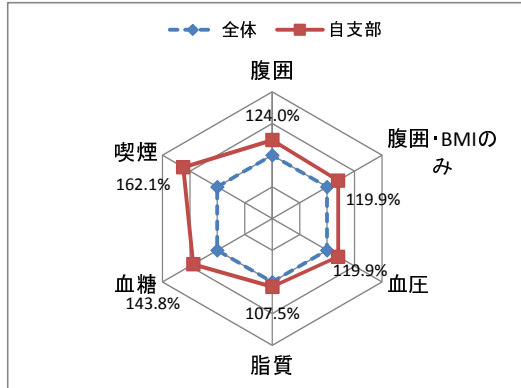
ステップ2-(2) データ分析結果に基づく自支部の現状－健診(リスク)分析の概要⑤

4 リスク状況 (注：腹囲＝腹囲(男性)85cm以上・(女性)90cm以上)

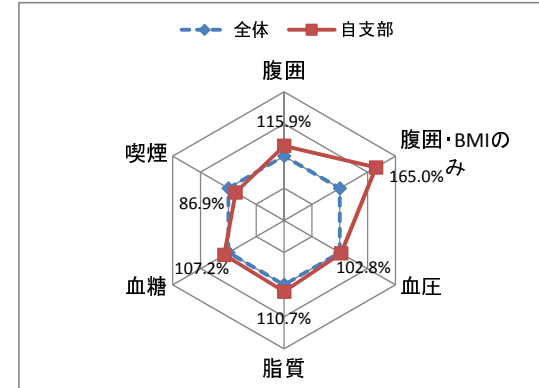
①組合員(男性)



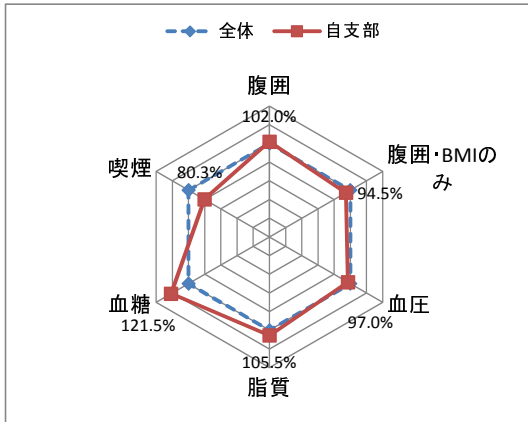
①被扶養者(男性)



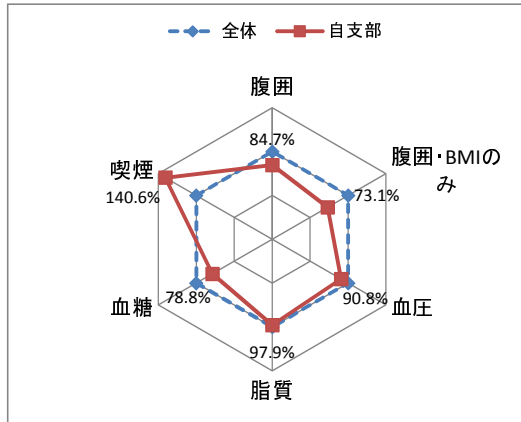
①任意継続組合員(男性)



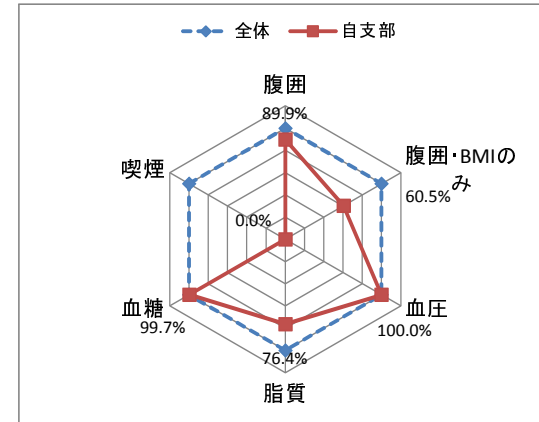
②組合員(女性)



②被扶養者(女性)



②任意継続組合員(女性)



<コメント>

1.健康分布

- ・被扶養者<女性>以外のすべてで「肥満」の「階層化リスクあり」が全体を上回っている。
- ・任意継続組合員<女性>以外のすべてで「肥満」の「受診勧奨」が全体を上回っている。
- ・組合員は男女ともに「服薬」も全体を上回っている。
- ・組合員<女性>は「非肥満」の「階層化リスクあり」, 「受診勧奨」及び「服薬」も全体を上回っている。
- ・被扶養者<女性>は「非肥満」の「服薬」及び「肥満」の「服薬」も全体を上回っている。

2.リスク状況

- ・組合員は男女ともに「腹囲」, 「血糖」, 「脂質」が全体を上回っている。
- ・被扶養者<男性>はすべての項目で全体を上回っている。
- ・被扶養者<女性>は「喫煙」のみ全体を上回っている。
- ・任意継続組合員<男性>は「喫煙」以外の項目がすべて全体を上回っている。

ステップ3 健康課題の抽出

ステップ1とステップ2から見える健康課題

・特定健康診査・特定保健指導ともに実施率が当共済組合全体を下回っており、かつ、特定保健指導は目標値も下回っている。

・肥満が当共済組合全体を上回っている。
・腹囲・血糖・脂質が当共済組合全体を上回っている。

・精神及び行動の障害にかかる組合員1人当たりの医療費が高い。

・人間ドックや招待事業を除き、全体的に保健事業の利用率が低い。

・保健事業の見直しを検討する必要がある。

課題解決に向けた方向性

○特定健康診査
・積極的な受診に向けて広報活動を強化するとともに、引き続き事業主に健診結果の提供について協力を依頼する。

○特定保健指導
・人間ドックに引き続いての実施と訪問型での実施により、利用しやすい環境を作る。
・引き続き事業主に該当者への勧奨、配慮について協力を依頼する。

・セミナーの内容に、生活習慣病に関するテーマを取り入れる。
・セミナーの案内を所属にも通知し、その際に今回の分析結果を踏まえての内容であることを周知し、所属所長へ該当者の参加について勧奨を依頼する。

・メンタルヘルス相談やメンタルヘルス講演会について、広報活動を強化し、利用しやすい環境を整える。

・広報誌、支部ホームページへの掲載に加えて、所属所通知や利用率の高い事業と併せての広報等により積極的な利用を勧奨する。その際に今回の分析結果に基づき留意が必要であることについて各所属所長の理解等を求める。
・未然防止を図るとともに、教職員が多忙であることを踏まえた広報を行う。

・組合員に対するニーズ調査の実施について平成27年度に検討する。
・ニーズ調査を実施する場合は、平成28年12月までに実施する。

<コメント>

・広報にあたっては、定期発送や他係発信の通知へのチラシの同封等、様々な機会をとらえて周知徹底を図るよう努める。
・被扶養者への広報については、まず組合員が通知・チラシ等を家庭に持ち帰ることが重要であるため、組合員への周知・広報を通じて行う。
・指定都市への権限移譲に伴い、人間ドックの費用負担について検討する必要がある。

ステップ4 保健事業の再構築(保健事業の基盤と支部個別事業)

●保健事業の基盤

事業名	内容	事業主・互助会等との調整の有無	27年度												28年度			29年度								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-6月	7月-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7月-9月	10-12月	1-3月				
特定健康診査	受診券印刷	なし	← 随時 →			◎ <small>一括 発券</small>	← 随時 →						随時	◎ <small>一括 発券</small>	← 随時 →			随時	◎ <small>一括 発券</small>	← 随時 →						
	支部広報紙への掲載	なし	◎		◎			◎				◎				◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		
	所属所へのチラシ送付	なし			◎						◎					◎	◎				◎	◎				◎
	事業主からの健診結果受領	あり							← 随時 →								← 随時 →								← 随時 →	
特定保健指導	特定保健指導	なし	← 随時 →												← 随時 →			← 随時 →								
	支部広報紙への掲載	なし	◎									◎				◎	◎		◎		◎	◎		◎		◎
	所属所へのチラシ送付	なし		◎							◎					◎	◎		◎		◎	◎		◎		◎
人間ドック	費用負担のあり方に係る検討	あり	← 随時 →												← 随時 →											

●支部個別事業

事業名	内容	事業主・互助会等との調整の有無	27年度												28年度			29年度							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-6月	7月-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7月-9月	10-12月	1-3月			
健康づくり事業	メンタルヘルス相談に係る支部広報紙への掲載	なし	◎		◎				◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	メンタルヘルス相談に係る所属所へのチラシ送付	なし		◎							◎					◎		◎		◎	◎		◎		◎
	メンタルヘルス相談に係る内容の見直し	なし									◎	◎						◎					◎		◎
	メンタルヘルス相談に係る周知方法の検討	あり	← 随時 →												← 随時 →			← 随時 →							
	メンタルヘルス講演会に係る支部広報紙への掲載	なし	◎						◎							◎	◎				◎	◎			
	メンタルヘルス講演会に係る所属所へのチラシ送付	なし			◎						◎					◎		◎		◎	◎		◎		◎
	こころとからだのリフレッシュセミナーに係る内容の見直し	なし	◎	◎												◎					◎				
	こころとからだのリフレッシュセミナーに係る所属所へのチラシ送付	なし			◎											◎					◎				

ステップ5 保健事業の目標・評価指標の設定

●保健事業の基礎

事業名	内容	対象者						27年度 厚生事業費 計上予定額 (千円)	目標 (目標値・達成時期等)																														
		組合員		被扶養者		任意継続																																	
		性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢																																
特定健康診査	受診券印刷	なし	なし	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	1,478千円	1 受診率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診 (当組合全体)</td> <td>82%</td> <td>84%</td> <td>86%</td> <td>88%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>特定健診 (自支部)</td> <td>74%</td> <td>75%</td> <td>80%</td> <td>85%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導 (当組合全体)</td> <td>20%</td> <td>25%</td> <td>30%</td> <td>35%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導 (自支部)</td> <td>16%</td> <td>18%</td> <td>25%</td> <td>30%</td> <td>35%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H25	H26	H27	H28	H29	特定健診 (当組合全体)	82%	84%	86%	88%	90%	特定健診 (自支部)	74%	75%	80%	85%	90%	特定保健指導 (当組合全体)	20%	25%	30%	35%	40%	特定保健指導 (自支部)	16%	18%	25%	30%	35%
	区分	H25	H26	H27	H28	H29																																	
	特定健診 (当組合全体)	82%	84%	86%	88%	90%																																	
	特定健診 (自支部)	74%	75%	80%	85%	90%																																	
	特定保健指導 (当組合全体)	20%	25%	30%	35%	40%																																	
	特定保健指導 (自支部)	16%	18%	25%	30%	35%																																	
支部広報紙への掲載	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	1,680千円																																
所属所へのチラシ送付	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	1,833千円																																
事業主からの健診結果受領	男・女	40～74歳	なし	なし	なし	なし	1,788千円																																
特定保健指導	特定保健指導	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	男・女	40～74歳	24,809千円	2 広報活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌</td> <td>年5回</td> <td>年5回</td> <td>年5回</td> <td>年5回</td> <td>年5回</td> </tr> <tr> <td>チラシ</td> <td>なし</td> <td>年1回</td> <td>年3回</td> <td>年3回</td> <td>年3回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H25	H26	H27	H28	H29	広報誌	年5回	年5回	年5回	年5回	年5回	チラシ	なし	年1回	年3回	年3回	年3回	その他	なし	なし	なし	なし	なし						
	区分	H25	H26	H27	H28	H29																																	
	広報誌	年5回	年5回	年5回	年5回	年5回																																	
	チラシ	なし	年1回	年3回	年3回	年3回																																	
	その他	なし	なし	なし	なし	なし																																	
支部広報紙への掲載	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	特定健康診査 に一括計上																																
所属所へのチラシ送付	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	特定健康診査 に一括計上																																
人間ドック	費用負担のあり方に係る検討	男・女	30, 35, 37, 39, 41歳以上	なし	なし	なし	なし	0千円	3 その他 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余裕資金の適正化</td> <td>147,300千円</td> <td>147,300千円</td> <td>145,000千円</td> <td>140,000千円</td> <td>135,000千円</td> </tr> <tr> <td>一般事業の見直し (=厚生事業費)</td> <td>16,500千円</td> <td>17,000千円</td> <td>17,000千円</td> <td>17,000千円</td> <td>17,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H25	H26	H27	H28	H29	余裕資金の適正化	147,300千円	147,300千円	145,000千円	140,000千円	135,000千円	一般事業の見直し (=厚生事業費)	16,500千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円												
	区分	H25	H26	H27	H28	H29																																	
	余裕資金の適正化	147,300千円	147,300千円	145,000千円	140,000千円	135,000千円																																	
一般事業の見直し (=厚生事業費)	16,500千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円																																		

●支部個別事業

事業名	内容	対象者						27年度 厚生事業費 計上予定額 (千円)	目標 (目標値・達成時期等)
		組合員		被扶養者		任意継続			
		性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢		
健康づくり事業	メンタルヘルス相談に係る支部広報紙への掲載	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	特定健康診査 に一括計上	セミナー実施及び相談人数 (平成27年度) 1,500人 (平成28年度) 1,550人 (平成29年度) 1,600人
	メンタルヘルス相談に係る所属所へのチラシ送付	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	272千円	
	メンタルヘルス相談に係る内容の見直し	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	9,677千円	
	メンタルヘルス相談に係る周知方法の検討	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	0千円	団体数 (平成27年度) 80団体 (平成28年度) 85団体 (平成29年度) 90団体
	メンタルヘルス講演会に係る支部広報紙への掲載	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	特定健康診査 に一括計上	
	メンタルヘルス講演会に係る所属所へのチラシ送付	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	272千円	
	こころとからだのリフレッシュセミナーに係る内容の見直し	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	1,000千円	
こころとからだのリフレッシュセミナーに係る所属所へのチラシ送付	男・女	すべて	なし	なし	なし	なし	136千円	参加人数 (平成27年度) 110人 (平成28年度) 120人 (平成29年度) 130人	

ステップ6 データヘルス計画の公表・周知

区分	内容	実施時期	27年度 厚生事業費 計上予定額 (千円)	備考
支部広報誌	支部広報紙への掲載	(27年度) 年2回 (6, 12月) (28年度) 年3回 (4, 9, 12月) (29年度) 年4回 (4, 9, 12, 3月)	1,680千円	年5回中2回分を厚生事業費で負担
	チラシの配布	(27年度) 年2回 (6, 11月) (28年度) 年3回 (5, 9, 12月) (29年度) 年4回 (5, 9, 12, 3月)	300千円	
その他	支部運営審議会にて報告	6, 12, 3月	0	

ステップ7 計画の見直し

●保健事業の基盤

事業名	目標 (目標値・達成時期等)	評価 (実施結果への評価、評価の時期)	改善策	備考
特定健康診査	受診率 (平成27年度) 80% (平成28年度) 85% (平成29年度) 90%			
特定保健指導	実施率 (平成27年度) 20% (平成28年度) 25% (平成29年度) 30%			
人間ドック	(平成28年度末) 費用負担のあり方についての検討が終わっている。			

●支部個別事業

健康づくり事業	メンタルヘルスのセミナー実施及び相談人数 (平成27年度) 1,500人 (平成28年度) 1,550人 (平成29年度) 1,600人			
	メンタルヘルス講演会の団体数 (平成27年度) 80団体 (平成28年度) 85団体 (平成29年度) 90団体			
	こころとからだのリフレッシュセミナーの参加人数 (平成27年度) 110人 (平成28年度) 120人 (平成29年度) 130人			